

研究者・作曲家が
現代日本の
音楽トレンドを斬る

講座内容

●13:00~13:10

開会、趣旨説明

井上さつき (愛知県立芸術大学・西洋音楽史)

●13:10~13:40

「J-Pop 的恋愛法」

藤井たぎる (名古屋大学・音楽思想)

●13:40~14:25

「J-Pop に見えるクロスオーバー現象について:
クラシック、伝統邦楽、ミュージカルを中心に」

増山賢治 (愛知県立芸術大学・ワールドミュージック)

休憩 14:25~14:40

●14:40~15:10

「J-Rock: 教会音楽を学ぶ若者達が目指すもの」

壬生千恵子 (愛知県立芸術大学・アートマネジメント)

●15:10~15:40

「恋心の吟じ方」

田所光男 (名古屋大学・比較文化)

●15:40~16:10

「武満徹と J-Pop」

藤井明子 (愛知県文化情報センター・音楽論)

休憩 16:10~16:25

●16:25~16:55

「拾われる大衆音楽の時代」

布施哲 (名古屋大学・政治哲学)

●16:55~17:25

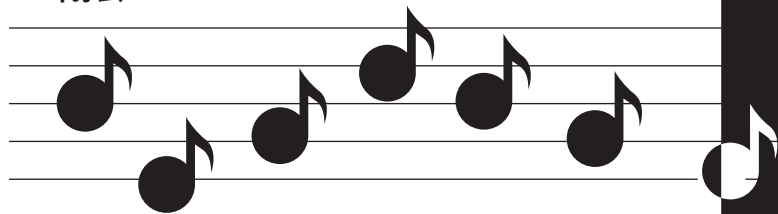
「小室哲哉の音楽: 作曲家が分析する小室サウンド」

小林聡 (愛知県立芸術大学・作曲)

●17:25~18:00

質疑応答 司会: 井上さつき (愛知県立芸術大学・西洋音楽史)

閉会



問合せ先: 愛知県文化情報センター 052-971-5511

主催: 愛知芸術文化センター
名古屋大学大学院国際言語文化研究科
愛知県立芸術大学音楽学部音楽学コース

日時:

2010年11月13日(土)

13時~18時 (出入り自由・申込不要)

会場:

愛知芸術文化センター 12階
アールスペース A

いまや、「みんなの歌」となった J ポップ。
クラシックを学ぶ音大生だって
J ポップは大好き。

でも、J ポップの特徴って、なんだろう?
外国でも同じなのかな?

音楽の面から、歌詞の面から、
それをとりまく社会の面から、
大学の先生たちがユニークな切り口で J ポップに
ついて考えてみます。
実は、音楽の世界では、黒船以来の大きな変動に
私たちは立ちあっているのかもしれない……

名古屋大学、愛知県立芸術大学及び
愛知芸術文化センターの音楽家・研究者が
一堂に会し、それぞれの立場から
J-Pop を語るリレー講座です。

鑑賞術
Pop
入場無料
定員 150名

